



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 シンデン・ハイテックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3131 URL https://www.shinden.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田村 祥 TEL 03-3537-0101
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	36,187	9.1	603	53.8	619	233.4	422	254.8
2020年3月期第3四半期	33,176	△5.3	392	△21.3	185	△22.8	119	△27.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 404百万円 (278.6%) 2020年3月期第3四半期 106百万円 (△35.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	209.49	—
2020年3月期第3四半期	59.64	—

(注) 2020年3月期第3四半期及び2021年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため記載しておりません。なお、2021年3月期第1四半期連結会計期間末時点でストック・オプションは失効しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	18,345	5,705	31.1	2,799.23
2020年3月期	18,193	5,339	29.3	2,670.68

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,697百万円 2020年3月期 5,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	6.1	750	51.2	680	133.2	460	148.1	227.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	2,110,200株	2020年3月期	2,110,200株
2021年3月期3Q	74,900株	2020年3月期	114,300株
2021年3月期3Q	2,015,988株	2020年3月期3Q	1,996,210株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1株当たり当期純利益につきましては、期中平均株式数の変動を考慮して算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
3. 品目別販売実績	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症流行後の大幅な落ち込みから徐々に経済活動のレベルの引き上げが進み、持ち直しの動きがみられたものの、同感染症の再流行や米中貿易摩擦等の通商問題の激化の懸念が先行きに不透明感を増しております。

当社グループが属するエレクトロニクス業界につきましては、デジタル化の進展による5G、IoT、AI分野や脱炭素化に向けた再生可能エネルギー関連分野への投資拡大等、期待される市場がある一方、コロナ禍により苦戦を強いられている市場があり、明暗がわかれております。さらに、昨今の半導体の供給逼迫により、回復基調にあった自動車メーカーから生産調整実施の発表がなされ、車載用機器向け市場も厳しい環境下にあります。

このような情勢の下、当社グループにおいて現在推進している「収益構造改革」は、前述の期待される市場との親和性が高く、同市場への販売に引続き注力してまいります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、OA用機器向けの需要減や一部のバッテリービジネスの遅延があったものの、車載用機器向けの回復、有機ELビジネスの特別需要、GIGAスクール構想における文教用機器向け液晶モジュールの前倒需要の増加、スマートフォン周辺機器向けのメモリビジネスの需要増により順調に推移しました。その結果、売上高は、361億87百万円（前年同四半期比9.1%増）となりました。営業利益は、売上総利益の増加及び販売費及び一般管理費の減少もあり6億3百万円（前年同四半期比53.8%増）となりました。経常利益は、ドル金利の低下による支払利息の圧縮及び為替差益が前年同期に対し大幅に増加したため6億19百万円（前年同四半期比233.4%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、4億22百万円（前年同四半期比254.8%増）となりました。

品目別では、液晶分野は、車載用機器向け液晶モジュールの回復、有機ELビジネスの特別需要、文教用機器向け液晶モジュールの前倒しによる需要増により、売上高165億29百万円（前年同四半期比32.9%増）となりました。半導体分野は、OA用機器向けメモリの需要減がありましたが、車載用機器向け需要が回復したこととスマートフォン周辺機器用メモリビジネスの需要増もあり、売上高125億31百万円（前年同四半期比3.1%減）と回復してまいりました。電子機器分野は、サーバ機器の販売を開始し、異物検出装置がほぼ前年並みに推移しましたが、OA用機器向けメモリモジュールの需要減により、売上高33億19百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。その他分野は、EMSビジネスが堅調に推移しましたが、バッテリービジネスが遅延状況にあり、売上高38億6百万円（前年同四半期比14.0%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

当第3四半期連結累計期間は、売上高345億79百万円（前年同四半期比14.4%増）となり、セグメント利益は、6億36百万円（前年同四半期比80.7%増）となりました。

(海外)

当第3四半期連結累計期間は、当セグメントの主要な顧客が車載用機器及びOA用機器メーカーであり、同顧客の生産停滞の影響が残ったため、売上高16億7百万円（前年同四半期比45.5%減）となり、セグメント損失は、27百万円（前年同四半期は2百万円のセグメント損失）となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響について

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、コロナ禍で苦戦している市場向け及び遅延状況にあるビジネスを、車載用機器向け需要の回復をはじめとしたボリュームビジネスの需要の増加でそれを補い、順調に推移したため現段階で影響はありません。

しかし、同感染症が拡大状況にあり、その収束が長期化した場合は、2020年6月24日提出の有価証券報告書「第一部 企業情報 第2 事業の状況 3 (2) ② d. 経営成績に重要な影響を与える要因について (a) 新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）に関するリスクについて」に記載の要因により、当社グループの業績に影響を与えるおそれがあるとの判断に変更はありません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

総資産は183億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億52百万円(0.8%)増加しました。主な要因は、現金及び預金が16億32百万円(27.7%)減少しましたが、受取手形及び売掛金が15億23百万円(20.9%)、その他の流動資産が1億37百万円(30.5%)、差入保証金が96百万円(56.9%)増加したことによるものであります。

② 負債

負債は126億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億14百万円(1.7%)減少しました。主な要因は、買掛金が10億24百万円(44.7%)、その他の流動負債が2億37百万円(54.8%)増加しましたが、有利子負債が14億45百万円(14.6%)減少したことによるものであります。

③ 純資産

純資産は57億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億66百万円(6.9%)増加しました。主な要因は、利益剰余金が3億32百万円(12.4%)増加したことによるものであります。

④ 経営指標

流動比率は買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ6.9ポイント減少し164.7%となりました。自己資本比率は、有利子負債の減少等により、前連結会計年度末に比べ1.8ポイント増加し31.1%となりました。有利子負債対純資産比率は1.5倍となり、前連結会計年度末と比べ0.4ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症及び米中貿易摩擦の動向、半導体の世界的な供給逼迫等により先行きが不透明な状況が続いている中ではありますが、経常利益以下の利益は、2020年11月30日に公表しました2021年3月期の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」に対し、比較的高い水準で推移しております。これは、当第3四半期連結累計期間において、為替相場が円高基調で推移しており、為替差益が112百万円生じたためであります(為替差益が経常利益に占める割合は、18.2%)。

為替相場に急激な変動がある場合は、経常利益以下の利益に変動の可能性があるため、現時点では前回予想値を据え置き変更はありません。

これらの当社グループの業績に与える影響の精査を月々行っており、その結果、業績予想の修正を要することが判明した場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,892,175	4,259,345
受取手形及び売掛金	7,306,057	8,829,734
電子記録債権	122,326	224,990
商品	4,150,636	4,094,041
その他	448,998	586,049
貸倒引当金	△21,500	△29,085
流動資産合計	17,898,693	17,965,076
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	4,388	4,864
その他(純額)	10,269	8,890
有形固定資産合計	14,657	13,754
無形固定資産		
ソフトウェア	29,760	17,390
その他	1,311	1,311
無形固定資産合計	31,072	18,701
投資その他の資産		
差入保証金	169,272	265,565
その他	95,731	82,535
貸倒引当金	△15,876	—
投資その他の資産合計	249,128	348,101
固定資産合計	294,858	380,557
資産合計	18,193,552	18,345,634
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,295,215	3,320,140
短期借入金	4,788,520	5,071,500
1年内返済予定の長期借入金	2,718,701	1,675,794
未払法人税等	119,785	138,994
賞与引当金	75,480	29,713
その他	434,045	671,778
流動負債合計	10,431,747	10,907,921
固定負債		
長期借入金	2,403,664	1,718,448
退職給付に係る負債	16,179	11,017
その他	2,657	2,796
固定負債合計	2,422,501	1,732,262
負債合計	12,854,248	12,640,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,438,519	1,438,519
資本剰余金	1,390,417	1,382,085
利益剰余金	2,671,879	3,004,387
自己株式	△173,131	△112,248
株主資本合計	5,327,685	5,712,744
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,732	△15,471
その他の包括利益累計額合計	2,732	△15,471
非支配株主持分	8,886	8,176
純資産合計	5,339,303	5,705,449
負債純資産合計	18,193,552	18,345,634

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	33,176,405	36,187,495
売上原価	31,203,322	34,095,180
売上総利益	1,973,083	2,092,315
販売費及び一般管理費	1,580,478	1,488,535
営業利益	392,605	603,779
営業外収益		
受取利息	1,882	554
仕入割引	95	—
為替差益	19,116	112,789
その他	2,868	4,393
営業外収益合計	23,963	117,736
営業外費用		
支払利息	203,996	82,062
債権売却損	18,920	17,520
支払手数料	3,454	498
その他	4,374	1,876
営業外費用合計	230,746	101,957
経常利益	185,822	619,559
特別利益		
関係会社清算益	—	3,644
特別利益合計	—	3,644
税金等調整前四半期純利益	185,822	623,204
法人税、住民税及び事業税	73,303	188,763
法人税等調整額	△7,378	11,291
法人税等合計	65,925	200,055
四半期純利益	119,897	423,148
非支配株主に帰属する四半期純利益	851	824
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,045	422,323

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	119,897	423,148
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△13,127	△18,913
その他の包括利益合計	△13,127	△18,913
四半期包括利益	106,770	404,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,624	404,120
非支配株主に係る四半期包括利益	1,145	115

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、Shinden Singapore Pte. Ltd. は清算したため、同社を連結の範囲から除外しております。

3. 品目別販売実績

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		増減率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
液晶	12,435,145	37.5	16,529,742	45.7	32.9
半導体	12,929,870	39.0	12,531,614	34.6	△3.1
電子機器	3,386,896	10.2	3,319,240	9.2	△2.0
その他	4,424,493	13.3	3,806,897	10.5	△14.0
合計	33,176,405	100.0	36,187,495	100.0	9.1

(注) 当連結グループの事業は、半導体及び電子部品の販売事業の単一事業であるため、品目別の販売実績を記載しております。